

いわき市教育委員会には

## 英語教育サポーター派遣事業

があります

2020年度の小学校英語教科化以来、ALTの増加、電子教材の充実、タブレット技術向上の後押しもあり、英語の授業は格段に進化しています。ここまで牽引されてきた先生方には頭が下がるばかりです。

いわき市教育委員会の委託を受けて実施している本事業は今年度で4年目を迎えます。これまで市内の25校以上にご利用頂き、毎年高い評価を頂いております。



ここであらためて英語教育サポーター派遣事業について説明いたします

- 英語教育サポーターは、専科の先生やALTとも一緒に教室で活動することができます
- サポート対象は5, 6年生のみではなく、3, 4年生に拡大されています

支援内容は

- ▶ ライティング、スピーキングなど、個別対応が必要な時に生徒をサポート
- ▶ 遅れている生徒のフォロー
- ▶ 英語圏の国との文化の違い、考え方の違いを紹介する
- ▶ アクティビティの紹介や、教材を準備する

などです

実際に、担任、ALT、サポーターの3人体制で授業を行う学校もあり、『遅れてしまう生徒さんへのフォローが行き届き、クラスがうまくまわる』と大変喜んで頂いております。



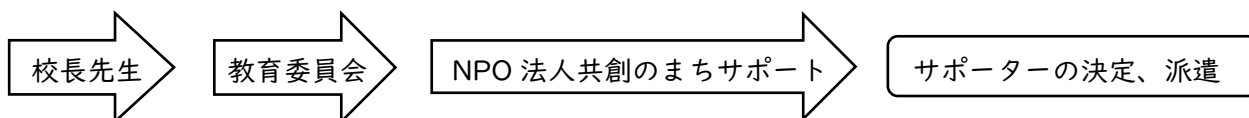
私たちは、小、中、高の英語学習にそれぞれ携わる機会があり、英語についていけなくなっている学習者を目にする事が多くあります。現在、中学校の英単語数は1200から2500語に引き上げられた上、文法事項も増加しており、中学校の教科書は小学校の学習を習得した前提で作られています。定着しないまま進学すればついて行くことが困難となり、一方で塾や英会話教室に通わせる家庭もあることから、中学校の英語の成績はラクダのこぶのような二極化を示しています。(朝日新聞 EduA より) 経済格差がそのまま教育格差につながる現状です。

教室で、不安を抱えた生徒さんは沈黙しています。全員をフォローするためには人手が必要です。「英語ができた!」「通じた」「楽しい」と興味を芽生えさせるフォローはサポーターの得意とするところです。



ぜひ、貴校の教室に英語教育サポーターを加え、先生方の教室運営にお役立て下さい。

【申し込みの流れ】 どうぞ、各学校の校長先生から教育委員会にお申し込み下さい。



2023年5月発行

英語教育サポーター派遣事業:

いわき市教育委員会 / 特定非営利活動法人「共創のまちサポート」

いわき市平字高月103-1 理事長 国井 達夫

<https://www.facebook.com/kyousounomati.iwaki>